

**平成24年度 事務事業評価シート**

<b>事業の概要</b>	事務事業名	汚泥処理施設管理事業						担当部	環境交通部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	廃棄物対策課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	環境美化係		
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		4 処理施設を整備する				
		副目的									
	予算区分	款	4	項	2	目	4	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	特になし									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	1 %		委託	99 %		助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市内で収集されたし尿浄化槽汚泥を適正に処理する。									
	内容 (手段)	<p>バキューム車で家庭等から収集したし尿浄化槽汚泥を搬入し、異物除去を行った後、水と汚泥へ分離し、水は公共下水道へ放流し、汚泥は真空乾燥機で乾燥したのち処理業者により焼却し再利用されている。</p> <p>昭和53年度より稼動している施設で、老朽化が進んでいるため、平成21年度に「し尿処理施設整備基本構想策定のため基礎資料」を作成し、これに基づき平成22年度に「し尿浄化槽汚泥処理施設精密機能検査」を実施し、「し尿処理施設整備基本計画」を策定した。</p> <p>○24年度実施内容 施設運転に必要な管理委託や修繕を実施する。</p>									
受益者負担	1,200円/m <sup>3</sup> 、平成23年度実績18,336千円										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
<b>コスト</b>	費用	直接経費	千円	108,977	101,559	107,560	114,902	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,063	1,063	1,063	1,063
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	110,040	102,622	108,623	115,965
	対前年比		%		93.2	105.8	106.7	
財源	一般財源	千円	91,097	84,559	90,239	97,965		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	18,943	18,063	18,384	18,000		

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	汚泥の搬入量	kl	目標	15,000	15,000	15,000	15,000
			実績	15,786	15,053	15,321	
			目標				
			実績				
			目標				
実績							
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	乾燥汚泥排出量	トン	目標	300	300	300	300
			実績	270	251	277	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	昭和53年度より稼働している施設のため老朽化が進んでいるが、適切な維持管理を行い、市内から排出されるし尿浄化槽汚泥の処理を円滑に行った。
		事業実施における課題等	平成25年から改修工事をするクリーンセンターへの統合を進めるが、それまで円滑に処理できる機能を保持する必要がある。
		事業を縮小・廃止したときの影響	し尿浄化槽汚泥処理は、市民の日常生活に欠くことのできない重要な事業であり、し尿浄化槽汚泥処理の必要がなくなるまでは、廃止または休止することはできない。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	施設の老朽化が進んでいるが、法律で市においてし尿処理をすることが義務付けられており、現在計画しているクリーンセンターへの統合が完了するまでは、処理機能を保持する必要があると判断した。	
	改善案等	昭和53年度より稼働している施設で老朽化が進んでいるため、平成25年度からクリーンセンターをし尿浄化槽汚泥施設の機能を併せた施設として改修工事をする計画である。これにより施設運用は平成26年度までとなる予定である。 2施設をまとめる事により、相当の経費節減が図れるものとする。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。